



# かさおか



## 歴史を刻む貫読講堂

### 建築様式は飛行機の格納庫!

『子どもふれあい祭り』でお世話になった貫読講堂、その歴史は古く昭和16年に一人の篤志家・佐藤貫一氏の寄付によって建てられました。(昭和16年10月着工・17年7月落成)

佐藤氏は明治24年に笠岡東本町で生まれ、笠岡小学校の尋常科、高等科を卒業して19才で中国に渡り、製粉・酒造・醤油会社を興し、財界人として成功した人です。

母校の旧講堂が老朽化して狭く、多くの人が集まれる場所がなかったのを見かねて、巨額の寄付を決意、当時のお金で7万7千5百円、今のお金に換算すると約2億円の費用で建設されました。

建築様式は木造二鉸式トラスという構造で、当時の耐震建築としては最高の建築技術、飛行機の格納庫など大型の建屋に採用されていました。そして、築後73年が経った今も現役として、笠岡小学校の入学式や卒業式を始め各種行事に使用されており、近年になって玄関や窓がアルミサッシに、またトイレや電気関係も改修されましたが、舞台の周りは当時の姿のまま、時代の古さが感じられるところです。

「貫読」という言葉の由来は、佐藤氏に贈られた笠岡町長名の感謝状の一節から引用した言葉で、興譲館長・山下秋堂氏による命名とされており、多くの人の思い出の場所として、これからもその歴史を刻んで行くことでしょう。

参考資料：笠岡青年会議所「ふるさとを語ろう」

笠岡市文化連盟「心にくる笠岡のひと」



- 2月4日(水)14:00～  
第15回役員会を開催予定です。
- 2月7日(土)9:30～  
第8回子ども新聞部の活動日です。
- 2月19日(木)18:30～  
第20回子育て部会を開催予定です。

『笠岡地区まちづくり協議会』  
事務所：笠岡市笠岡2627番地  
電話：63-5949  
Fax：75-0101  
E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp  
開館日：月・水・金曜日の  
14時～17時まで



# あなたの家にも住宅用火災警報器

☆新築住宅は、平成18年6月から、既存住宅は、平成23年6月から  
住宅用火災警報器の取り付けが義務付けられています。

住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）の発生状況を経過別に見ると「逃げ遅れによるもの」が最も多く、全体の約6割を占めています。

また、死者の発生状況を時間帯別にみると、火災件数は起きている時間帯（日中）が多い一方、火災死者数は就寝時間帯の方が多くなっています。

このため、必要最小限で効果の高い場所として、家族全員の寝室に設置しなければなりません。さらに寝室が2階にある場合などでは、階段にも設置する必要があります。これは階段が火災による煙の集まりやすい場所であるとともに、2階などで就寝している人にとっては、ほとんどの場合唯一の避難経路となるからです。大切な命を守るために、必ず取り付けましょう。

また、設置義務はありませんが、火気を使う台所には「熱感知式」のものを出来るだけ取り付けましょう。

Q どこで売っているの？ 家電販売店やホームセンターなどで販売されています。

Q どんな種類があるの？ 煙感知式（寝室／階段／廊下用）、熱感知式（台所用）があります。また、警報音（音で知らせるブザー式、声で知らせる音声式）の種類、本体や電池の使用期限によって値段が違います。

※悪質訪問販売にご注意！ 問い合わせは、消防本部予防課（63-7121）へ



## 『県庁堀』の昔と今

昭和40年代の県庁堀・東付近、笠岡小学校の西門からこの辺りまで続いていました。生活用水が流れ込むのできれいな堀ではなく、生き物として記憶に残るのはジャンボタニシくらい。その季節が来るとピンク色のタニシの卵が石垣の水際にいっぱい付いていました。

## 『お年玉クイズの答え』

- 問1 男子 問2 50本  
問3 協働  
問4 ①4・3m ②13・5m  
問5 ひまわり  
賞品の発送をもって当選者の発表に代えさせていただきます。

## 編集後記

年末寒波の襲来で元旦は雪化粧、強風も吹き荒れて初詣は大変でした。ちなみに願ひ事は「家内安全・身体堅固、それから地域の平穏無事も忘れずにお願ひしました。」

近年の異常気象下、厳しい寒さが続きますがご自愛ください。 I・M

## 「インフルエンザ」にご注意！

年末からインフルエンザが流行しています。うがいや手洗いを励行し



人ごみの中に出かける時には、マスクをして予防をしましょう。